



巻頭言

オフィス長挨拶 — グローバル化のなかの大学

善し悪しはともかく急速に進んでいるグローバル化の中で、大学人が海外で起こっている社会の変化に無頓着であるわけにはいかない。何がグローバル化なのか、世界各地で起こっている変化をまず肌で感ずることなく、今後の世界を考えることはできないであろう。

できるだけ多くの学生に海外経験をして欲しい。またできるだけ多く、外国から学生を受け入れたい。さらにできるだけ多くの教員が海外経験を踏み、また、世界各地との共同研究を進めたい。またさらに、地域に根ざす香川大学は、地域の国際化へも貢献したい。

本年4月に新たに発足させたインターナショナルオフィスは、日本の各大学と比較しても非常にオリジナルな組織である。このインターナショナルオフィスは、Kagawa University International Office という英語名から、KUIO と簡略化することになっている。

KUIO のオリジナリティの一つは、このオフィスの下に、二つの目的の異なるセンターが設置されていることにある。一つは、留学生センターであり、このセンターのような組織はほとんどの日本の大学が有している。もう一つのセンターは、国際研究支援センターである。前者が留学生を対象とするのに対して、後者は香川大学として国際研究を支援する役割を担っている。自由な発想で国際的研究を推進する各教職員と部局の下支えになる組織を目指している。

もう一つのオリジナリティは、KUIO という単一組織の下に二つのセンターがあるという点から派生するのであるが、専任教員は、どちらかのセンターの専任ではなく、教育と研究という両者の国際化に貢献することが期待されている。また、5名を定員とする専任教員だけではなく、各部局から少なくとも一人は兼任教員として KUIO の運営に参加して頂いている。

このような全学出動体制の KUIO は各教職員と部局の発意を真摯に受け止め、香川大学の国際化に資する取り組みを誠心誠意進めて行きたいと考えている。

平成21年9月

KUIO オフィス長 村山 聡



インターナショナルオフィスの紹介

国際研究支援センター

文部科学省は、『知』の世界大競争へ対応し、日本の大学において、国内外の優秀な研究者を惹きつける国際競争力のある研究環境の実現をするため、平成17年度から「大学国際戦略本部強化事業（SIH）」を開始した。「大学等の国際化をより効率的に促進するため、国際戦略本部といった全学的な国際化のための組織を置き、国際戦略を策定した上で行う様々な取組みを支援・分析することにより、より効率的な国際化のモデルを開発する」ことを目的としたものである。

この「国際戦略本部強化事業」は、5年計画であり、20の採択機関において、「各大学等の特色に応じた『国際戦略本部』といった全学横断的な組織体制を整備し、大学等としての国際戦略を打ち立てながら、学内の各種組織を有機的に連携した全学的、組織的な国際活動を支援するとともに、国際展開戦略の優れたモデルを開発することにより、他大学の創意工夫ある自主的な検討を促すこと」を目的としている。本年度がその最終年度である。

この20の採択機関の現状を踏まえた上で、香川大学ではインターナショナルオフィスを発足させ、その中の一つのセンターとして本年4月に設置したのが、国際研究支援センターである。大学の国際戦略を策定した上で、その線上で、国際研究の具体的な企画と運営を行う機関である。もっとも、国際戦略の策定に向けた提案もすることにより、現場に合ったより効率的な国際化を進めることが可能となる。

国際研究支援センターの現在の英語名は、Center for International Research and Cooperationとしている。英語名とはいえ米語名である。少しの言葉の違いも国際化の支障になるため、国際研究支援センターの役割は多岐に及ぶ。今後、教職員と部局の要請を踏まえ、徐々に組織の充実を図っていきたいと考えている。

平成21年9月

国際研究支援センター長 村山 聡



本学とチェンマイ大学(タイ、1990年4月協定締結)との合同シンポジウム(International Symposium for the Establishment of Sustainable and Recycling-based Society, the Second Kagawa University - Chiang Mai University Joint Symposium 2008, Kagawa University, October 16-18, 2008)

留学生センター

留学生センターは香川大学における国際交流推進を目的として平成15年4月に学内共同教育研究施設として設置されました。留学生センターは7つの役割を担っています。

- (1) 日本語教育の実施
- (2) 留学生に対する日常生活上の助言
- (3) 短期プログラムやスタディ・ツアーへの学生の派遣や受け入れ
- (4) 様々な方法による情報発信
- (5) 日本語教育や留学生に関する問題の研究
- (6) 国際交流促進のための各種団体との協力
- (7) 各種の支援活動による留学生の生活の向上

本年4月より、新設されたインターナショナルオフィスの傘下に新たに配置され、今まで別々に活動していた学術国際交流委員会の機能がオフィス会議に統合されました。オフィスの中で、留学生センターとして、本学の国際交流を一層向上させて参りたいと考えております。特に全学の学生交流にかかわる国際戦略の構築や情報共有について、以前より円滑に活動できるようになると考えられます。また、インターナショナルオフィスの発足を機に、海外の協定大学との学生受け入れや派遣が増えることにより、留学生センターの活動は拡大していくと予想されます。

平成21年9月

留学生センター長 ロン リム

平成21年度(前期)のインターナショナルオフィスの活動

協定締結調印

本学では2009年4月1日から現在までの間に以下の協定を締結しました。

- | | |
|------------|--|
| 2009年6月1日 | 本学と中国電子科技大学との大学間学術交流協定及び学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び大学院工学研究科と中国電子科技大学工科系学院との交流協定に関する実施細則 |
| 2009年6月1日 | 本学工学部及び大学院工学研究科とロバニエミ応用科学大学との学術交流協定、学生交流プログラムに関する実施細則、インターンシッププログラムに関する協定 |
| 2009年6月4日 | 本学と天津農学院との大学間学術交流協定及び学生の交流に関する実施細則、本学農学部及び大学院農学研究科と天津農学院との学術交流協定に関する実施細則 |
| 2009年6月18日 | 本学と大邱大学との学生交流プログラムに関する実施細則 |
| 2009年7月24日 | 本学とフランシュ・コンテ大学との大学間学術交流協定及び学生交流プログラムに関する実施細則、本学工学部及び工学研究科とフランシュ・コンテ大学とのインターンシッププログラムに関する協定 |

帰国留学生ネットワーク中国支部総会の開催

平成21年6月6日（土）中国北京において、香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部総会が開催されました。



香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部総会



中国電子科技大学との調印式にて

.....

第10回日本語語学研修プログラム

平成21年6月29日から7月24日まで、第10回日本語語学研修プログラムが開催され、今回は中国（北京工業大学）、台湾（真理大学、輔仁大学）、韓国（大邱大学、建国大学、南ソウル大学）から、計14名の学生が参加しました。

参加学生の体験談をインターナショナルオフィスのホームページへ掲載しています。併せてご覧下さい。

（インターナショナルオフィス 高水徹）



学外学習「金毘羅」



体験学習「華道」

外国人のための進学説明会（大阪）

7月12日（日）にグランキューブ大阪で JASSO（日本学生支援機構）主催「外国人のための進学説明会」が行われました。本学は毎年大阪会場のほうに参加していますが、今年は初めてアドミッションセンター大阪オフィスのご協力を得、同オフィス南野やよい特任助教、国際グループ宮脇みどりチーフ、留学生センター塩井の女性3人での参加となりました。

（インターナショナルオフィス 塩井実香）



左から、南野先生、塩井、宮脇チーフ

日本留学フェア（台湾）

平成21年7月18日（土）と19日（日）の2日間、独立行政法人日本学生支援機構主催の「日本留学フェア（台湾）」へ参加しました。本学からは入試グループの後藤サブリーダーとインターナショナルオフィスの正楽が出席しました。

フェアの後、真理大学（2007年6月協定締結）と輔仁大学、財団法人交流協会台北事務所を訪問し、本学との交流事業や日台の留学事情について意見交換を行いました。

（インターナショナルオフィス 正楽藍）



右端：後藤サブリーダー、中央：正楽

経済産業省委託事業「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業

本学は平成19年度以降、日本企業・日系企業へ就職したい外国人留学生の就職支援事業を実施しています。本事業では「ビジネス日本語・日本ビジネス教育」授業と県内日本企業でのインターンシップ、個別のキャリアカウンセリング、その他、留学生のための就職支援ガイダンスや企業研究フォーラム、企業見学会などを行っています。

(インターナショナルオフィス 正楽藍)



「ビジネス日本語・日本ビジネス教育」授業
(県内企業の人事担当者によるワークショップ)



「ビジネス日本語・日本ビジネス教育」授業

海外語学研修ガイダンス・研修生帰国報告会

平成21年5月13日(水)、本学(幸町キャンパス)研究交流棟6階の第1講義室にて、「海外語学研修ガイダンス・研修生帰国報告会」を開催しました。

研修生帰国報告会では、ビクトリア大学での語学研修を終えた山下修平さん(教育学部4年、研修期間9カ月)と飯田智生さん(経済学部3年、研修期間7カ月)に、研修の内容やホストファミリーとの交流、カナダでの生活体験などを発表して頂きました。

平成20年度春季海外語学研修生の体験談をインターナショナルオフィスのホームページへ掲載しています。併せてご覧下さい。

※ 平成21年度の夏季海外語学研修は新型インフルエンザの感染拡大のため中止しました。

(インターナショナルオフィス 正楽藍)



最前列中央：山下さん



中央：奥田さん(経済学部2年、Perth Institute of Business and Technology(オーストラリア)4週間)

学部の国際交流行事

法学部 — 上海社会科学院（中国・上海）、華東政法大学（中国・上海）および国立政治大学（台湾・台北）との国際交流

法学部の植松真生准教授が、平成21年5月25日から6月3日の間の海外研修中に、上海社会科学院（1996年9月協定締結）、華東政法大学（1996年9月協定締結）および国立政治大学（2002年3月協定締結）を訪問し、本学とそれぞれの大学との間の国際交流について意見交換を行いました。

訪問記録の詳細はインターナショナルオフィスのホームページへ掲載しています。

工学部 — 南ソウル大学、ハンバット大学、韓国海洋大学（韓国）との国際交流

平成21年9月6日から12日まで、5名の教職員と12名の工学部学生からなる訪問団が香川大学の交流協定校である韓国の3つの大学、南ソウル大学、ハンバット大学および韓国海洋大学を訪問しました。

（工学部 澤田秀之）



ハンバット大学にて記念撮影（前列右から2番目：Dongho Sul 学長、4番目：Kee Hong Ahn 工学部長、前列左：国際交流センター職員 Seon-Pyo Hwang 氏、後列左：国際交流センター長の Dong-Jin Cha 教授）



ハンバット大学での学生交流の様子

教育学部 — 江西師範大学短期訪問

教育学部の平篤志教授と学生5名がと中国南昌市にある江西師範大学国際教育学院（2005年2月協定締結）を平成21年9月15日から5日間訪問し、国際交流学院の学生との交流活動や、日本語教育の実情などを視察しました。

（教育学部 高木由美子）

農学部 — 「アジア人財資金構想」 高度専門留學生育成事業 「日本の食の安全」 プログラム

今年度から、香川大学農学部では経済産業省と文部科学省の共同事業としてはじまった「アジア人財資金構想」高度専門留學生育成事業を実施しています。「日本の食の安全」の観点から、作物の育成・収穫・加工・流通・販売に至るまで総合的に食の安全に必要な能力を体系的に身につけ、日本語能力や日本文化を正しく理解した優秀な国際人、且つ経営感覚を身につけた企業幹部となりうる人材を育成することを目的としています。

(農学部 アジア人財支援室)



渡日前日本語教育開講式 タイ、カセサート大学
(1988年8月協定締結)



「日本の食の安全」国費外国人留學生特別コース入学式 (農学部)

外国人留學生の声 — JAPAN, A HOME FAR FROM HOME

Friendly ties began immediately after dropping off a limousine bus at Takamatsu Bus Station. A man walked up to me to ask if I needed help because I was looking so exhausted after the long 20 hours journey. Fortunately I got picked up immediately. My immediate problem was language which was a major communication barrier. I could only greet, introduce myself and a few other basic Japanese. I realized the need to start up on my “Nihongo” classes as soon as possible. …… I think that my experiences in Japan are a lifetime souvenir. Being in Japan is just so fascinating and a great adventure. I have no doubt there are more enjoyable “tanoshii” and exciting experiences ahead of me as I journey on through my studies. Japan has become a home away from home.



Peter Chivero
(Zimbabwe)

全文はインターナショナルオフィスのホームページでご覧下さい。

<p>香川大学 インターナショナルオフィスニュース 第1号 2009(平成21年).10.30</p>	<p>香川大学インターナショナルオフィス 〒760-8521 高松市幸町1-1 Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1155 E-mail : soryucet@jim.ao.kagawa-u.ac.jp http://www.kagawa-u.ac.jp/itwinfo/ci1000383/</p>
---	---